公益財団法人結核予防会(JATA)
http://www.jatahq.org/

シールぼうや

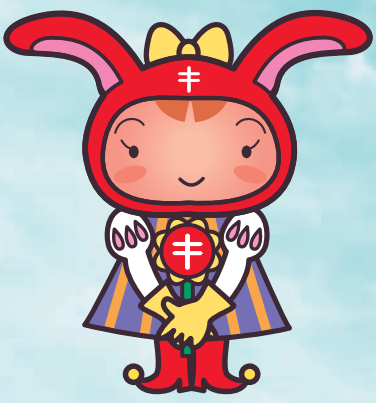
に
二の腕の それ って、結核の予防だったんだ。

結核の常識

2014

9月24日～30日
は結核予防週間

シールハイハイ



シールちゃん

あなたに夢を、街に元気を。
クーちゃん 宝くじ

このパンフレットは、宝くじの
社会貢献広報事業として助成を
受け作成されたものです。

シールぼうや

二の腕の（それ）って、結核の予防だったんだ。

シールちゃん

結核の常識 2014

もっと知ろうよ 結核のこと!

結核をなくすためにはなによりも、皆さんに結核について正しく理解してもらうことが大切。あなたと身近な人を結核から守るためこのパンフレットをご活用ください。

STEP 1 まずは病気を知ろう! P.1

STEP 2 結核は怖い病気ではない P.3

STEP 3 日本と世界の結核 P.5

STEP 4 結核予防会の活動 P.7

まずは病気を知ろう!

結核はどんな病気なの？

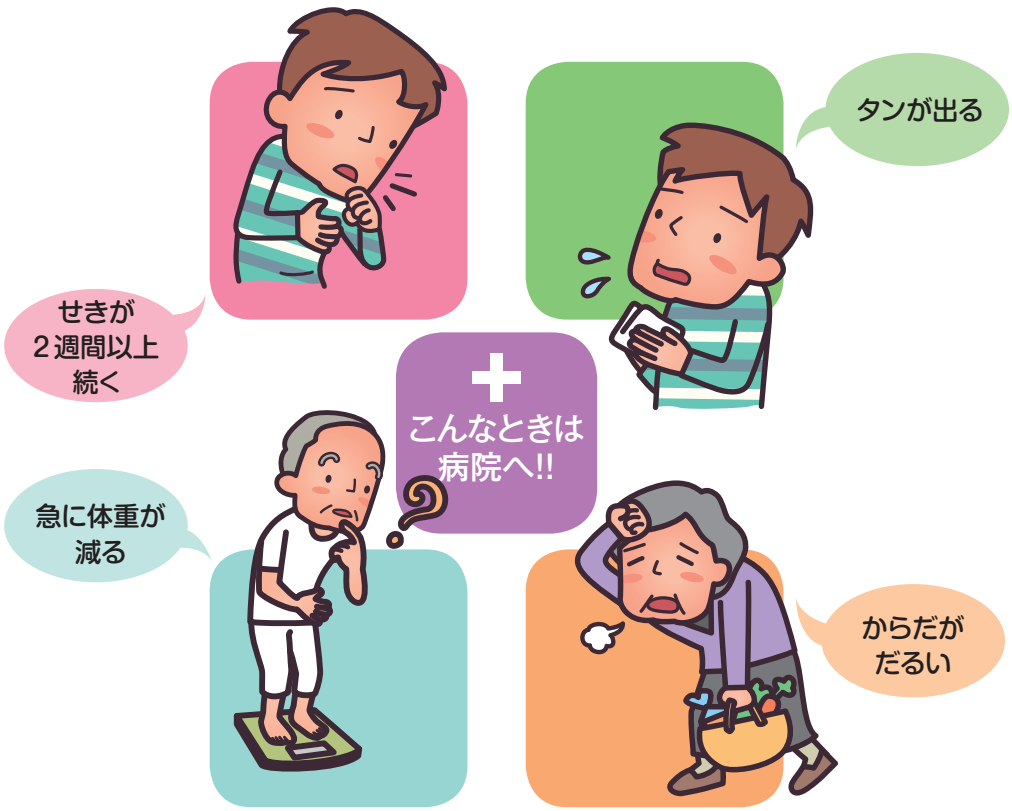
明治時代から昭和 20 年代までの永い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50 年前までは、年間死亡者数も 10 数万人に及び、死亡原因の第 1 位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思っていたら大間違いです。今でも 1 日に 58 人の新しい患者が発生し、6 人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

結核は過去の病気ではありません

■国内の結核（2013 年）

結核新登録患者数〈新たに結核と診断され登録された患者〉	20,495 人	罹患率	16.1
結核死亡数	2,084 人	死亡率	1.7

※結核死亡数は概数のため確定数とは異なる場合があります。率はすべて人口 10 万人対

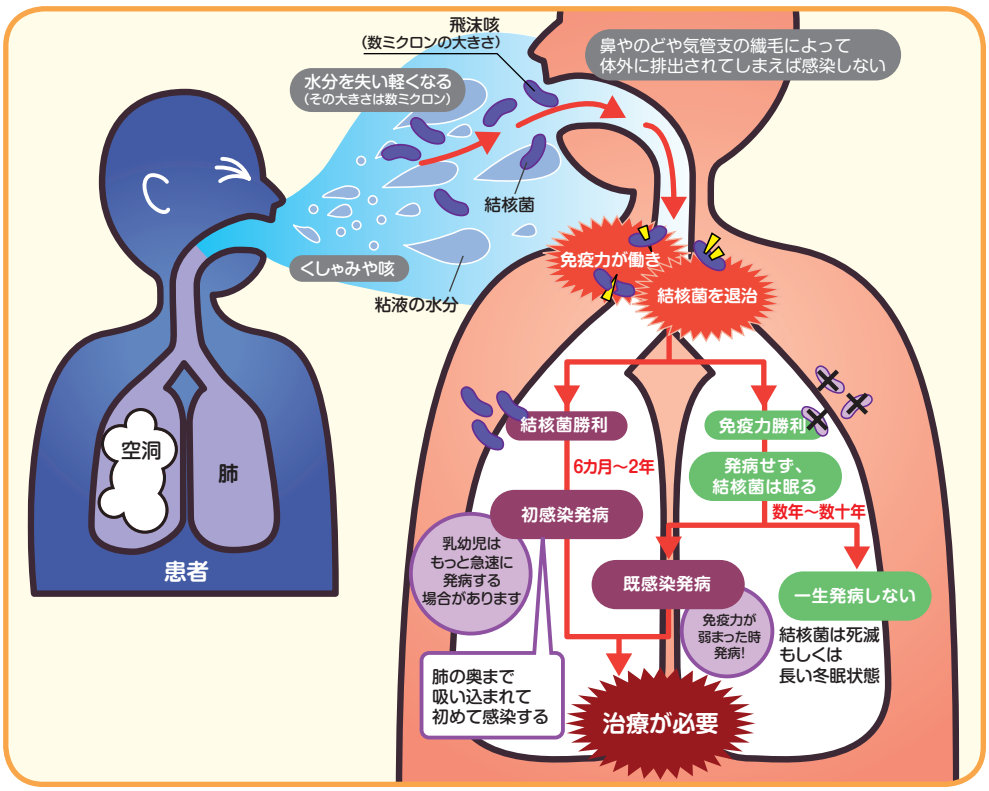


風邪のようで風邪じゃない
人から人へとうつる感染症だよ

結核はどうやって感染するの？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気で、結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。ただし、吸い込まれた結核菌の大半は、鼻、のど、気管支などに付着し、そこにある繊毛の働きによって体外に排出されるため感染しませんが、肺の一番奥まで侵入すると感染します。結核に感染しても必ず発病するわけではなく、通常は免疫力が結核菌の増殖を抑え込みます。増殖を抑えきれなくなると結核になります（発病）。

電子顕微鏡で見た結核菌の写真
長さ 1～4μm(ミクロン)



怖いのは気づかずにうつしてしまうこと

結核は怖い病気ではない

正しく知ることが予防の第一歩

結核の予防と治療

結核の予防には、普段から健康的な生活を心がけ、免疫力を高めておくことが重要です。夜更かしなどの不規則な生活や、喫煙は厳禁です。また、抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命が危ういことすらあります。予防するためには、BCG 接種が有効です。市町村からの案内に従って、遅くとも 1 歳までに接種を受けてください（ちなみに、国が示している標準的な接種期間は 5 ～ 8 カ月以内です）。

睡眠を十分にとる

適度に運動する

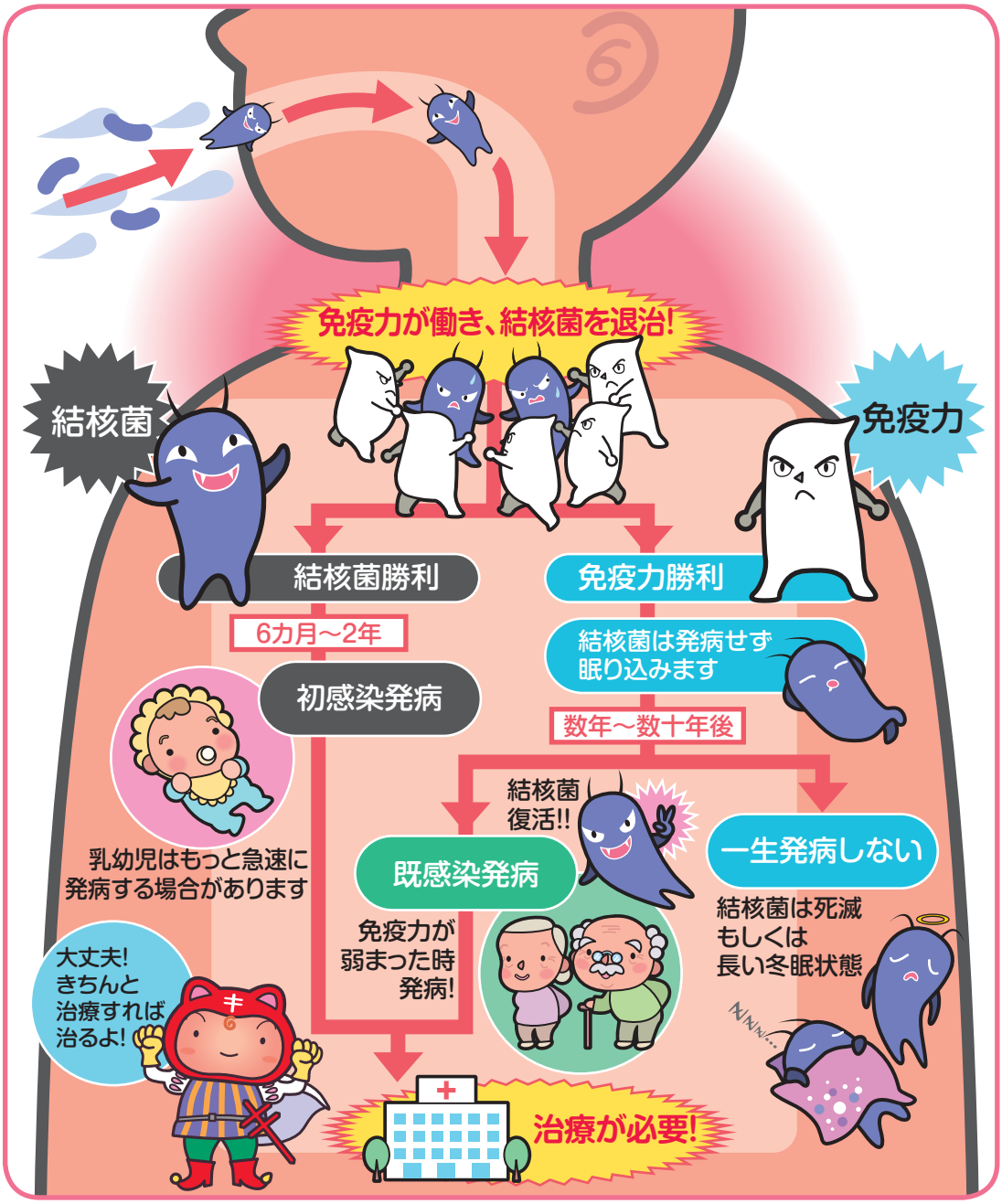
好き嫌いをせずバランスのとれた食事をする

タバコを吸わない

もし結核を発病したら？

結核と診断されても、6 カ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまえば菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になることもあります。治療を確実にするために、医療従事者が患者に薬を処方するだけでなく、確実な服薬を支援する日本版 DOTS（ドッツ：Directly Observed Treatment, Short-course）の推進が強化されています。心配がある場合には近くの保健所にご相談ください。

結核発病のメカニズムを知ろう！



日本と世界の結核

日本の結核を知ろうよ！

現在でも日本は、世界の中では中まん延国です

❶ 感染者がますます高齢化

1990 年代、60 歳代が一番多かったが、2001 年には 70 歳代、2006 年には 80 歳代に移行。

❷ 若者の結核も要注意

若い世代では集団感染の原因となることがある。

❸ 働き盛りの人の発見が遅れる

働き盛りの世代の発見の遅れは、次世代に結核を残すことになる。

❹ 外国人の割合が拡大している

結核対策が十分に行われていない、開発途上国から入国する若者が増えている。

❺ 地域格差がある

大都市部に多く集中する傾向があり、国内の地域間格差が大きい。

❻ HIV/AIDS との合併の危険

HIV 感染者や AIDS 発症者に結核菌が感染すると、命とりになる恐れがある。

■結核新登録患者の 3 年間の動き

	2010 年（平成 22 年）	2011 年（平成 23 年）	2012 年（平成 24 年）
新登録患者数（人） （罹患率：10 万対率）	23,261 （18.2）	22,681 （17.7）	21,283 （16.7）
0 ～ 14 歳	89（ 0.5）	84（ 0.5）	63（ 0.4）
15 ～ 19 歳	251（ 4.2）	157（ 2.6）	165（ 2.7）
20 ～ 39 歳	3,457（10.8）	3,135（10.0）	2,816（ 9.2）
40 ～ 59 歳	3,935（12.0）	3,869（11.6）	3,395（10.2）
60 ～ 79 歳	8,610（27.8）	8,107（25.5）	7,607（23.7）
80 歳以上	6,919（84.2）	7,329（85.6）	7,237（81.0）

結核は世界でも猛威を
ふるっているんだよ

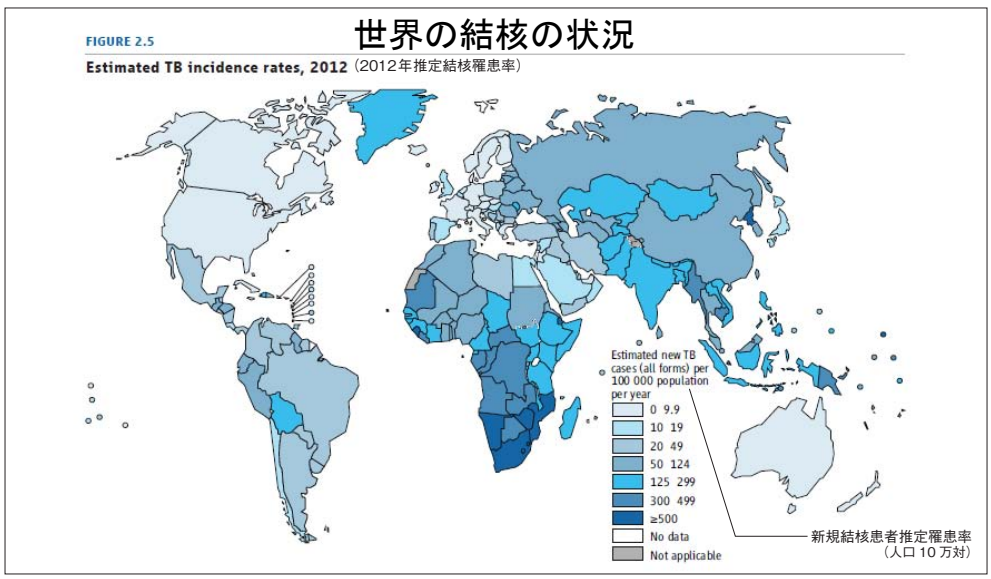
世界の結核はどうなっているの？

世界では、総人口の約3分の1が結核に感染しており、2012年には860万人が新たに発病し、130万人が命を落としていると推定されています。これら発病者のうち、300万人は適切な診断や治療を受けることができていないと考えられています（WHO fact sheet より）。

また結核とHIVの重複感染や多剤耐性結核により、結核の問題は深刻化しています。結核とHIV／AIDS、それにマラリアを加えた3大感染症は、全体で毎年約400万人の生命を奪っています。そのほとんどがアジアとアフリカを中心とした発展途上国に集中しています。

日本政府は、世界エイズ・結核・マラリア対策基金に累計21億ドル以上を拠出しています。結核予防会も、アジア・アフリカの人々と協力して、結核をなくすための支援活動を行っています。

カンボジアへの支援（レントゲン検診車による結核健診）



世界の結核の状況

（出典：WHO Global Tuberculosis Report 2013）

アジア・アフリカを中心とした発展途上国で多く感染し発病しています

結核予防会の活動

結核をなくすための複十字シール募金にご協力ください

複十字シール運動 2014-2015

このマークは
世界共通の
結核予防運動の
シンボルです

結核予防会では「結核のない世界」をつくるため、複十字シール運動による募金活動を実施しています。収益金は、結核予防の普及啓発活動、開発途上国への結核対策支援等に活用しております。

運動期間 8/1 ▶ 12/31

※運動期間外もいつでも受付けています

募金にご協力していただいた方にお配りしている複十字シールです。
（安野光雅氏デザイン）

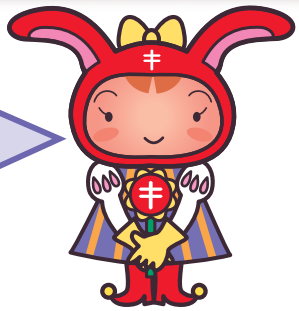
どなたでも参加できます！詳しくはコチラにご連絡ください

公益財団法人結核予防会　事業部普及広報課
TEL 03-3292-9287　http://www.jatahq.org/　E-mail shikin@jatahq.org

このパンフレットについてのお問合せ先

公益財団法人結核予防会（JATA）　http://www.jatahq.org/
〒101-0061　東京都千代田区三崎町 1-3-12
公益財団法人結核予防会　事業部普及広報課
TEL：03-3292-9288　FAX：03-3292-9208　E-mail：fukyu@jatahq.org

結核は、みんなの問題です
結核対策にご理解ください



結核の知識をさらに深めよう

結核対策を成功させるには、一人一人が結核について正しい知識を持つことが重要です。日本では近年の調査により入院患者の 0.5%から「超多剤耐性結核菌」が検出されています。これは結核の治療に使われる主要な薬剤のうち、4 種類以上の薬が効かず、東ヨーロッパやアジアを中心に広がりつつあるとして WHO（世界保健機関）が警戒を呼びかけている新手の結核菌です。手をゆるめずに、結核対策を続けていきましょう。

もっと結核について知りたい方は

結核に関する知識・情報が満載!

結核予防会のホームページ

http://www.jatahq.org/

※パソコン対応のため、携帯電話の機種によっては見られない場合があります。ご了承ください。

結核で困っている外国人の方がいたら

結核予防会「外国人結核電話相談」

TEL .03-3292-1218・03-3292-1219
（毎週火曜日 10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 15：00）

わかりやすいマンガから専門書まで取り揃えています

結核予防会発行の書籍

TEL .03-3292-9289
http://jatahq.org/scb/shop/shop.cgi
book@jatahq.org

宝くじは、図書館や動物園、
学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や
災害に強い街づくりまで、いろいろなかたちで、
みなさまの暮らしに役立てられています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
http://jla-takarakuji.or.jp/